

# 福岡県労連

## KEN & ROREN

2020  
10月号  
No.166

発行所 福岡県労働組合総連合  
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南  
1-9-8 ケイ・アイビル2F  
☎092-433-1833 FAX092-433-1822  
編集発行  
福岡県労働組合総連合  
福岡県労連 検索



〔定価〕  
1部10円

ホームページ 単産・単組の専用ページパスワード: syuto (11/1 ~ 11/30)

# 2020秋季年末闘争で要求実現へ

9月17日、この間7年余に渡る安倍内閣から菅内閣へ変わりました。しかし、菅首相はアベ政治を引き継ぐことを表明し、私たちの立場とは大きく異なる姿勢を示しました。このスガ政治に対して、私たちは秋季年末闘争の要求実現に向け次の4つを重点として強めていきます。

## 賃金大幅引き上げを求める

まず第一に賃金大幅引き上げ実現運動の強化です。この間、「最低賃金引上げ」は各政党の選挙公約になり大きく動かしだしたものの、コロナ禍で財界からの要請にこたえた安倍前首相が「雇用を守る」ことが重要として賃上げ抑制を行い、今年は福岡県選出の国会議員に対しての要請を行います。合わせて「2020人勧」についても注視が必要です。日本は、OECD諸国においても賃金が減少している数少ない国です。コロナ禍で消費を大きく減らした消費を大きく引き上げるためには賃金引き上げが必要です。官民共同で運動を進めていきます。

## 公務員定数増員を求める

次に公務員定数増の実現です。公務員定数が削減されてきた結果、災害・コロナ禍など緊急事態において十分に機能を果たせず、公務職場において過労死ラインを超える長時間労働にさらされる状況も生まれています。また、コロナ

## 公立・公的病院再編統廃合中止を求める

3つ目は全国424病院再編統廃合問題です。政府はコロナ禍においても再編統廃合を進める予算を決定しました。しかし、公立・公的病院が担ってきた感染症病床があまりに少なく、重症患者を受け入れることが困難である

## 4万人県労連で要求実現

4つ目は組織拡大です。全労連では150万対話を100万人全労連を目指す秋の組織拡大方針が決定しました。県労連では加盟組合の教訓に学び、組合員との対話を強め、組合員に依拠した組織拡大の具体化を進めます。また、コロナ禍で多くの労働者

## 全労連女性部第31回定期大会報告

## いのちや文化を守る政治に転換を



9月12日全労連女性部第31回定期大会がオンラインで開催され、福岡県女性センターからは宮本敦子部長(福祉保育労)と前田由美子副部長(自治労連)が代議員、小川次長が全労連女性部常任委員として出席。新型コロナウイルス感染拡大により、女性労働者の6割を占める非正規労働者は「雇用の調整弁」として切り捨てられています。エッセンシャルワーカーといわれる社会生活を支える労働者の多くは女性。いのち・健康・くらし・教育・文化を守る政治への転換を求め、ともに声を上げていくことを確認しました。福岡からは宮本部長が、27回大会で年金者の組合員が30年前に組合を結成し賃上げ交渉で闘い、今も運動を続けているという82歳組合員の報告をしました。



## 最低賃金10・1改定周知！

## 最賃上げる！ 全国一斉宣伝行動

福岡県は11円博多駅前以最賃引き揚げと組合加入を呼びかけ10月1日から福岡県の全国の最低賃金が改定されましたが、福岡県は842円と前年比11円しか上がっていません。この賃金では8時間働いて、人間らしい、健康で文化的なくらしを営むことはできません。



福岡県労連は全国と連帯して夕方博多駅前で行い、駅前を行き交う人々に最低賃金の改定周知と労働者組合への加入を呼びかけチラシを配布しました。

コロナ禍だからこそ、収入減の労働者を支えるとともに医療や物流、小売りなど社会を支えながらも、非正規雇用労働者が多い「エッセンシャルワーカー」のためにも、最賃引き上げが必要です。全国一律最賃制、時間額1500円をめざして声をあげていきます。



【談話】

菅首相の日本学術会議への  
人事介入に抗議し、撤回を求める（抜粋）

2020年10月6日  
全国労働組合総連合  
事務局長 黒澤 幸一

菅首相が9月30日、日本学術会議の会員任命にあたって6名の学者を拒否したことに抗議と撤回を求める声が広がっている。今回の任命拒否問題は日本学術会議の独立性を侵害し、憲法に保障された学問の自由および思想信条、表現の自由を脅かすものであり、断固抗議する。菅首相には、今回の任命拒否の理由を説明するとともに速やかに任命するよう求める。

全労連は、任命拒否の撤回を求める広範な人々とたたかいを進め、立憲野党の国会での追及とも連携し、立憲主義と民主主義を守り、憲法がいきる政治の実現をめざして奮闘するものである。



全文は上QRコードより

以上

全国集団訴訟

NO!  
YES!

の条集団訴訟原告団



郵政ユニオンの組合員が2月に全国で一斉に提訴した正社員と非正規社員の差別をなくす20条集団訴訟の第一回口頭弁論が8月25日福岡地裁で開催されました。原告は、日本郵便が世界の常識である「同

郵政20条裁判の闘い  
「同一労働同一賃金」は世界の常識

一労働同一賃金」の要請を真剣に考えていたならば、私たちもこのような裁判を起こす必要はなかった。20年以上勤めてきた会社を一労働者が原告となり訴えることは辛いことであり、怖ろしいこと。しかし、ここで私たちが尻込みしてしまえば、皆のためにならないと考え今回の訴訟を決意しました。と裁判長へ訴えました。次回は11月10日福岡地裁で第2回口頭弁論があります。ご支援のほどよろしく願います。また、この裁判を左右するであろう、20条裁判の最高裁判決が10月15日となりました。私たちがたたかいてきた力を信じ、勝利判決を勝ち取りたいと思います。

憲法集会・各界連学習会のお知らせ

■ 憲法集会

日 時 11/3（火・祝）13時30分～  
会 場 須崎公園

■ 消費税廃止福岡県各界連絡会学習会

日 時 11月7日（土）14時～16時30分  
オンライン開催  
講 師 下関市立大学経済学部 関野 秀明 教授

※参加費は無料です。参加希望の方は県労連事務局まで問い合わせを。

わくわく講座 第1回スクーリング  
感想から（一部抜粋）



・日本がおかしな状態だと気付いてない人多すぎる。学習が必要だと感じました。若い人に学習に参加せいでらう取り組みを進めたいと思います。  
・働いている人は本当に縛られていると思います。質疑応答の時間のいろんな人の意見と関野先生の回答が参考になりました。

・私たちが学習し、経験を積み運動を進める中で「社会的バリエード」をつくっていかねばならないと思いました。  
・自分たちでバリエードをつくるためにも労組が必要だと思います。非正規と正規の仕事の関係が資本家のつくったシナリオだったとは驚きでした。  
・古いという批判もあるマルクスですがその功績は普及だと思います。マルクスを指針として私たちの運動が試され、役割が問われているのだと思いました。

加盟組合・地区労連新役員紹介（敬称略・五十音順）

| 福 建 労        | 福岡県医労連       | 北九州地区労連     |
|--------------|--------------|-------------|
| 執行委員長 江口 謙二  | 執行委員長 原 正勝   | 議 長 永富 雅生   |
| 副執行委員長 石本 利道 | 副執行委員長 石松 紀子 | 副 議 長 安達 靖史 |
| 同 北川 和利      | 同 井上 泰       | 同 大島 正      |
| 同 隈本 正継      | 同 兵頭 寛治      | 同 小橋 弘子     |
| 同 佐々木 貴智     | 同 松田 ユリ      | 同 新屋敷 浩二    |
| 書記長 丸林 正二    | 同 矢野 哲也      | 同 堀田 和夫     |
| 書記次長 菅 正司    | 書記長 保元 里美    | 事務局 長 永吉 孝一 |
| 同 甲斐 武征      | 書記次長 門馬 睦男   | 事務局次長 今泉 礼二 |
| 同 永松 健児      |              |             |
| 同 矢野 誠       |              |             |
| 同 山中 健       |              |             |

【お詫びと訂正】  
2020年9月15日発行NO.165号新役員名紹介で、事務局次長「渡邊」様を誤って「渡邊」としておりました。お詫びして訂正いたします。

この本  
おすすめ

「民主主義」

文部省著

（株）KADOKAWA  
本体920円（税別）



1948年から53年まで中学・高校で用いられた「民主主義の教科書」の復刻版。平成30年10月初版で5カ月で9版発行だから結構売れている。文庫本の4

43頁・17章建て多岐にわたり、民主主義の国民民主権の発想しか持てえなかった単細胞の私の頭には、一部を除き、新鮮で納得性のあるものだ。これが、占領下の文部省が作成して6年間で中高生が学んだと考えると驚愕である。巻末に内田樹氏の解説があり、こちらを先に読むと理解しやすい。お勧めの1冊です。（かけたはじめ）

編集  
後記

10月、全国衛生週間である。労働者の健康管理や職場環境の改善など、昭和25年から71回目の実施だ。今年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から「3密」（密閉空間・密集空間・密接空間）を避けることを徹底することをはじめとして実施されている。正しく怖がることが大切で「飛沫感染」をどう封じ込めるか、ここが重要だ。様変わりした今年の全国衛生週間であるが、早く通常に戻りたい。（は）